

キレイ 鮫・海 大作戦4

～森から海へのラフレター～

1. はじめに

私たち研究班は2020年から地域住民と一緒に「鮫オーシャンサポーターズ」を結成し、SDGs 目標14「海の豊かさを守ろう」を掲げ活動してきました。

2. 海辺の清掃と生物観察

小学生や地域住民と共に、鮫地区の海岸線でゴミ拾いと生物観察を実施し、想像以上に漂着ゴミが多く、人間の行動が海を汚している現実を実感しました。しかしゴミの傍らで多くの海洋生物が生息しており、地域の守るべき自然の豊かさと、間近に迫る環境破壊を感じました。



3. 水質調査で見た「湧水の影響」

地元漁業者からの「水質が気になる」という声を受け、八戸の海で水質調査を行いました。調査の結果、沖と河口付近で塩分濃度が逆転していることが分かり、付近からの「湧水」により海水を薄めている可能性があると考えました。海を良くするには「湧き水の源流である森」の美しさが不可欠であるという結論に達しました。



4. 森づくりから海を守る「植樹」

豊かな海を育む森林「魚つき林」の考え方から、八戸森林組合の協力のもと地域の皆さんと共に、海に流れる湧水の水源にカラマツ 400 本の植樹を行いました。植えたカラマツが、立派に成長して、湧水を海に届ける日が来ればとても嬉しいです。



5. おわりに

一度の植樹で海がすぐに変わるわけではありません。しかし、森と海のつながりを知り、地域の一人ひとりが意識を変えることが、八戸の豊かな資源を守る確かな一歩になると信じています。